

続・労務者の歴史 明治・土方編

労務者の歴史調査会……………2

△連載▽釜ヶ崎手帖(七) ある店のこと……………22

「土工の詩」三篇……………24

シノギ特集への批評について 「被告団通信」九号を読んで……………29

かえうた のすすめ……………33

とせいでんごんぼん―渡世伝言板……………37

ニユース寸評 ミドリに人気?!……………38

読者の声―どくしゃのこえ……………44

△連載▽資料・第一次釜ヶ崎暴動……………49

その七・蜂起終熄編(最終回) ―― 岩田秀一・編……………49

ろうどうしゃ〔労働者〕 ①肉体労働をして

その賃金で生活をする者。 ②職業の種類を

問わず、企業のために使用されて労働を提供

し、その対価として賃金・給料その他の収入

を得て生活する者。肉体労働をなす者に限ら

ず、事務員などをも含む。労働基準法・労働

組合法に定義を示している。

新村出「広辞苑」岩波書店

ろうどうしゃ〔労働者〕 労働により得た賃

金で生活していく人。〔狭義では、肉体労働

者を指す〕

ろうむしゃ〔労務者〕 契約を結んで、労働

する人。〔狭義では、日雇い労務者の称〕

金田一京助「新明解国語辞典」三省堂